

令和6年度 第1回 苫小牧港港湾脱炭素化推進協議会 議事次第

令和7年1月16日(木) 14:00 ~ 16:00

ハーバーFビル 2階会議室

1. 開会挨拶

- 苫小牧港管理組合 管理者 苫小牧市長 金澤 俊

----- 金澤市長、プレス 退室 -----

2. 構成員等の変更について

3. 北海道苫小牧地域を拠点としたアンモニアサプライチェーン構築について

- 北海道電力(株) 火力部 火力カーボンニュートラル推進グループ
リーダー 名兒耶 大輝 様

4. 先進的 CCS 事業 TomaCO₂mai CCS Project 取組状況について

- 石油資源開発(株) 国内カーボンニュートラル事業本部 事業一部
苫小牧 CCS 事業グループ長 奥村 文章 様

5. 苫小牧における合成燃料製造について

- 出光興産(株) CNX 戦略室 バイオ・合成燃料事業課 担当 Mg 小林 健介 様

6. 浮屋根式原油タンクを MCH 貯蔵に転用するための調査について

- 独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 備蓄企画部 担当審議役
(併)カーボンニュートラル推進本部 塩見 晃也 様

7. 札幌市における水素普及に向けた取組

- 札幌市 まちづくり政策局 政策企画部 グリーントランスフォーメーション推進室
水素事業担当課長 佐藤 友永 様

8. 今後の進め方

- 苫小牧港管理組合 総務部 港湾政策室 副主幹 有澤 博文

9. 閉会挨拶

- 苫小牧港港湾脱炭素化推進協議会 会長 石井 吉春

配布資料

- 議事次第(本紙)
- 構成員等名簿
- 参加者名簿
- 座席表
- (資料1) 北海道苫小牧地域を拠点としたアンモニアサプライチェーン構築について
- (資料2) 先進的 CCS 事業 TomaCO₂mai CCS Project 取組状況について
- (資料3) 苫小牧における合成燃料製造について
- (資料4) 浮屋根式原油タンクを MCH 貯蔵に転用するための調査について
- (資料5) 札幌市における水素普及に向けた取組
- (資料6) 今後の進め方
- (参考資料) 苫小牧港港湾脱炭素化推進協議会規約